

体験学習ボランティアが、ものづくり体験を丁寧にサポートします。

ゆめ・体験ひろば

それぞれ特色の異なる4つのエリアからなる「ゆめ・体験ひろば」は博物館ならではの多様な体験プログラムをとおして郷土埼玉の歴史と文化を学び、伝え、創造できる、誰もが主役になれる体験学習ゾーンです。

1 第1エリア 自由自在座

教科書に登場する「昔のくらしと道具」、ハンズオンの展示、時代衣装の着装体験など多様な資料を自由に選択し、自在に楽しむ場です。



2 第2エリア 学び文庫

自由自在座内にある学習スペースです。埼玉県関係の図書や図録、県内の市町村史、歴史・民俗・芸術に関する一般書籍、こども向けの学習まんがなどを利用できます。



3 第3エリア ものづくり工房

様々な製作体験が可能です。藍染めや江戸組紐などのものづくり体験をとおして、郷土に伝わる伝統文化のわざとところを学ぶ場です。



4 第4エリア 昭和の原っぱ

昭和30～40年代のノスタルジックな雰囲気再現した屋外スペースで、ベゴマやフラフープ、けん玉などの昔の遊びをとおして、昭和のこどもを体験できる場です。



ものづくり工房 通常体験メニュー

| メニュー | 実施時間 |
|------------------|--------------------------------|
| 藍染めハンカチ | ① 9:10-10:10 |
| まが玉 | ② 10:30-11:30 |
| 江戸組紐 (水・土曜限定) | ③ 13:10-14:10 ④ 14:30-15:30 |

れきみん埼玉マスコットキャラクター
てんぐまい三人衆

体験希望日の一週間前からお電話での事前予約も可能です。当日に空きがあれば、すぐにご案内できます。
※上記のほか、「ミニ絵巻物」「季節のミニアート」「絵馬」「歴史めりえ」「浮世絵スリッパ」が予約なしでも製作可能です。



当館について

歴史と民俗の博物館は、旧県立博物館と旧県立民俗文化センターを統合し、平成18年4月1日に誕生した歴史、民俗、美術工芸の分野を広域的、総合的、多元的に扱う人文系総合博物館です。愛称は「れきみん埼玉」。令和3年度には、前身の旧県立博物館開館から50周年を迎えました。

建築 —もうひとつの見どころ—

当館を設計したのは、近代建築の巨匠ル・コルビュジェの弟子で、日本の近代建築発展に貢献した建築家・前川國男氏です。前川氏の後期の作品として評価の高い建物であり、日本芸術院賞や毎日芸術賞など数々の賞を受賞し公共建築百選にも選定されました。照明や椅子をはじめとするインテリアや手すりなど、細部に至るまで前川氏設計のオリジナルデザインです。

建物は大宮公園の自然と調和するよう展示室を地下に埋め込んだ低層構造となっているほか、特徴的な外観タイルは自生する樹木に合わせた落ち着いた色調となっています。また、大きな窓が多用されており四季折々の風景を館内から楽しむことができます。



利用案内

□開館時間

9:00～16:30 (観覧受付は16:00まで)
※7・8月は9:00～17:00 (観覧受付は16:30まで)

□休館日

月曜日 ※祝日及び振替休日、ゴールデンウィーク中、県民の日は開館。
年末年始 12月29日～1月1日 ※臨時開館、臨時休館あり。

□観覧料

| | 常設展 | 企画展 | 特別展 |
|--------------|------|------|------|
| 一般 | 300円 | 400円 | 600円 |
| 高校生・学生 | 150円 | 200円 | 300円 |
| 一般団体 (20人以上) | 200円 | 250円 | 400円 |
| 学生団体 (20人以上) | 100円 | 150円 | 200円 |

※中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方(付添1名)は無料。
※学校教育課程や国・県・市町村教育委員会などの主催事業による観覧料免除規定あり。
※年間観覧券(一般1,500円、高校生・学生750円)は、交付から1年間、常設展を何回でも観覧でき、特別展・企画展や他の県立博物館施設の観覧料が割引となります。
※「ぐるっとバス」で観覧できます。

□講堂・講座室

会議や講演等にご利用いただけます。※事前予約が必要

| | 講堂 | 講座室 |
|-----|------|------|
| 1時間 | 630円 | 160円 |

□交通案内

電車：東武アーバンパークライン(野田線)大宮駅から徒歩2分
大宮公園駅下車 徒歩5分
車：駐車台数に限りがあります。(15台)
できるだけ公共交通機関をご利用ください。
※団体バスでお越しの場合は事前にご連絡ください。



埼玉県立
歴史と民俗の博物館
Saitama Prefectural Museum of History and Folklore

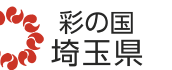
〒330-0803 埼玉県さいたま市大宮区高鼻町4丁目219番地
TEL 学芸部:048-645-8171 FAX:048-640-1964
管理部:048-641-0890
E-mail: m410890@pref.saitama.lg.jp



見学のしおり



埼玉県立
歴史と民俗の博物館
Saitama Prefectural Museum of History and Folklore





お客様へのお願い

- 館内での飲食はご遠慮ください。
- 常設展示室(①～⑩)内では個人利用に限っての写真撮影が可能です。ただし、一部撮影禁止の資料・エリアがあります。また、フラッシュ・三脚・自撮り棒等の使用および動画の撮影はご遠慮ください。撮影した画像を営利目的で公開・複製・配布・配信することも禁止です。



常設展示 埼玉における人々のくらしと文化

1) 第1室 旧石器(先土器)～弥生時代 狩りから稲作へ

日本列島に人々がくらし始めたのは約35,000年前と言われています。遺跡から発掘された様々な出土品をとおして、狩猟・採集の時代から稲作の時代へと大きく変化していく人々のくらしや社会の様子を紹介します。



2) 第2室 古墳時代 鉄剣は語る

稲荷山古墳から出土した鉄剣には、ヤマト王権を支えた武人の歴史が金の文字で記されていました。新しい技術や文化を吸収して開発をすすめ、地域社会が統合されていく様子を紹介しします。



3) 第3室 奈良～南北朝時代 武蔵武士

奈良時代には国の体制が整えられ、武蔵国が誕生しました。平安時代には「武蔵武士」が生まれ、鎌倉幕府の創建に貢献しました。武蔵武士の成立過程とその活躍、信仰や生活などを紹介します。



4) 第4室 美術展示室

ここは“博物館内の小さな美術館”。季節やテーマごとに様々な美術工芸品を展示し、日本美術の魅力とその奥深さを紹介します。

5) 第5室 室町～戦国時代 乱世に生きる

室町時代から戦国時代の武蔵国では、室町幕府と鎌倉府、さらには北条氏と上杉氏などの間で戦乱が繰り返されました。乱世を生きた人々の生活や文化を紹介します。

6) 第6室 板碑 武士の心

板碑(板石塔婆)は、鎌倉時代から戦国時代にかけて建てられた石の供養塔婆です。板碑にこめられた戦乱の時代の人々の願いを紹介します。



7) 第7室 江戸時代I 幕府の支配と村のくらし

江戸時代の北武蔵(埼玉県域)は、江戸の防衛や経済を支える重要な地でした。川越・忍・岩槻・岡部藩ゆかりの資料や、江戸との文化や学問の交流を示す資料などから、幕藩体制の確立と北武蔵の役割を紹介します。



8) 第8室 江戸時代II 社会の成長とゆらぎ

江戸時代には河川改修や新田開発が行われて農業生産が伸び、地場産業も盛んになりました。当時の北武蔵の様子と、天災や開国などによりゆらぎはじめた幕藩体制が崩壊に至るまでを紹介します。

9) 第9室 明治時代～現代 激動の時代をこえて

明治維新から現代までの埼玉の歩みをたどります。急速な近代化と戦争、戦後の復興と成長を中心に人々のくらしや埼玉の産業を紹介します。



10) 第10室 民俗展示室 火とくらし

火は身近に存在し、私たちに様々な恩恵をもたらしてきました。伝統的な技、祭りや行事に関する資料から、私たちのくらしと火のかかわりを紹介します。

常設展示室では展示解説ボランティアが、埼玉県の歴史や文化をわかりやすく解説します。赤いストラップが目印!

